

# 茅ヶ崎海岸 どっこい！湘南 浜降祭

日時：平成28年7月18日（月）祝日

浜降祭は毎年、海の日に行われる祭典です。

※明治9年（1876）に、旧暦の6月29日に行われていた「みそぎ」神事を新暦の7月15日と定め、名称を「浜降祭」と呼ばれるようになりました。その後の平成9年（1997）に、例祭日を7月20日に変更しましたが、祝日の改正に伴い平成16年からは7月海の日（第3月曜日）に例祭日が再度変更となりました。

- ・昭和53年6月23日には、神奈川県無形民俗文化財に指定。
- ・昭和57年「かながわのまつり50選」に選ばれる。
- ・平成23年より「国土交通省 関東運輸局」後援。

## 祭典の進行

- ① 午前4時30分頃 一番神輿が祭典会場に入場（7時までに全部の神輿が順次入場）
- ② 7時 浜降祭合同祭開式
- ③ 8時 先駆神社神輿発輿（帰路へ出発）
- ④ 9時 終了

## 浜降祭とは

今から170年ほど前の天保9年（1838）、寒川神社の神輿が、例年春に行われる国府祭（このまのまち）【大磯町国府本郷】に渡御した帰途、相模川の渡し場で寒川の氏子と地元の氏子が争いを起こし、川に落ちて行方不明になってしまいました。その数日後、南湖の網元である孫七さんが漁の最中にこのご神体を発見し、寒川神社に届けたことを契機に、毎年同神社の神輿が、そのお礼のため南湖の浜に赴き、「禊（みそぎ）」をするようになったと言われています。

一方、江戸時代後期に幕府がまとめた『新編相模国風土記稿』（天保3年）によると、鶴嶺八幡宮では、心身の罪やけがれを清める「みそぎ」の神事を行うため、毎年、浜辺への渡御が行われていたとあります。

## 神輿について

### 神輿担ぎ

各地の祭礼に出向いては友好と娯楽を兼ねた「神輿愛好会」が青年層を中心となって各地で生まれ、今では盛り上げ役に欠かせませんが、昭和20年（1945）のように出征によって若者が大変少なかった為、60歳までの人々が担いでいたこともあるという。

#### 豆知識 その1

神輿が海に入る「みそぎ」は5時～7時の入場時まで！

式典が始まると帰ってしまう人がいますが、まとまった神輿が海に入るのを見るには、お発ち（式典後一斉に神輿が動き出す）の後の8時過ぎの方がオススメ！

海の状態により、入らない時もあります。見れたあなたはラッキーです。

#### 豆知識 その2

「どっこい、どっこい」という掛け声は、相州神輿独特なもの。

掛け声だけではなく、神輿を担ぐ時唄われる歌「茅ヶ崎甚句」が聞けることもあります。

#### 豆知識 その3

神社によって神輿の担ぎ方が違うので、それを見比べるのも面白い。

#### 豆知識 その4

神社を出発する前に暗がりの中で幻想的に行われる「宮出し」も一見の価値あり。

## 問合せ先

茅ヶ崎海岸浜降祭実行委員会（寒川神社総務課内）

Tel：0467-75-0004

茅ヶ崎海岸浜降祭保存会（茅ヶ崎商工会議所）

Tel：0467-58-1111



# 7月18日(月)早朝

## 茅ヶ崎海岸

# 浜降祭

### 茅ヶ崎西浜海岸

**JR茅ヶ崎駅南口から徒歩20分**  
 ※ 会場周辺に駐車場・駐輪場はありません。  
 徒歩または臨時有料シャトルバスをご利用ください

**臨時有料 シャトルバスを 約10分間隔で運行**

行き: JR茅ヶ崎駅南口発 4時15分~7時  
 帰り: サザン通り南発 7時30分~8時50分  
 ※ コミュニティバス「えびし号」中海岸南湖循環市立病院線は、始発から市立病院8時55分発の便まで運休します

**交通規制**

2時~9時は、右図のとおり車両通行止めとなります

車両通行止め 交通規制区間
2時~4時
3時~5時
3時30分~9時
4時~9時

※ 国道134号下り車線は通行止めとし、上り車線を双方方向通行とします



**浜降祭会場**

【茅ヶ崎海岸浜降祭保存会(茅ヶ崎商工会議所内) ☎(58)1111、産業振興課観光担当】

## 交通規制予定図

